

埼玉大学教養学部同窓会だより

け や き 会

第 7 号

けやき会の皆様へ

けやき会会長 榎木 誠
(70年卒中国文化)

けやき会の会員の皆様、お元気に活躍のことと存じます。1991年に発足した教養学部同窓会(けやき会)は、卒業後各分野で活躍する同窓生のネットワークを強め、会員間の親睦を深めることを目指した活動を続けてきました。在学生と卒業生の結びつきを強めるために学生を迎え入れる一方、先輩である旧文学部文学科・人文学科の同窓会とも統合を実現するなど、組織的な広がりを図ってきました。こうした積み重ねによって、今では60



00人を超える卒業生と約800人の在学生をつなぐ組織になってきました。このけやき会が、卒業生と在学生、同窓生と学部などのネットワークの強化、相互の親睦を深め切磋琢磨していく組織として積極的な役割を果たせるよう様々な取り組みを強めていきたいと考えています。

その柱の一つとして、今年6月にはかねて念願だった「けやき会(教養学部同窓会)ホームページ」を近く立ち上げることになりました。このホームページは、同窓会の会員のみならず、双方方向の情報交換の場、自由な発信の場、相互交流を深める場として積極的に活用していただくことを目指しています。すでにホームページを立ち上げている経済学部など他学部の同窓会や全学同窓会連合会、埼玉大学や教養学部などのオンラインページも進めながら、使

い勝手の良いホームページにしていきたいと考えております。けやき会会員のみなさまの積極的な活用を願っております。

また、同窓会報でもお知らせしていますように、ホームページを立ち上げる今年6月には、耐震改修工事などのために新装なった教養学部棟の見学も兼ねて、大学構内の学生会館で同窓会総会を開催し、同窓会会員相互の交流、親睦を深めたいと考えています。さらに大卒者の就職環境が厳しさを増す中で、在学生の就職活動を支援するために、卒業生会員の皆様のご協力の下に「就職セミナー」の開催など様々な就職支援活動を強める計画です。同窓会活動を一層活性化させるために、会員の皆様のさらなるご協力をお願い申し上げます。

学部からの挨拶

教養学部長 高木英至

同窓会の皆様にはお元気で過ごしのことと存じます。同窓会の便りが出るのを機にご挨拶申し上げます。皆様には埼玉大学や教養学



部の近況をお伝えすべきかも知れません。卒業年次によつて事情は異なりますがこの数年間をとってみても、埼玉大学は外観も中身も、また周囲の情景も、少なくとも変化しています。特に大きな要因は、2004年に国立大学が法人化したことでしょう。法人化とは、埼玉大学を含めた国立大学が、「国立大学法人」という名の、国立でない機関になったことを指します。法人化しても以前と継続している面も多いですが、大学運営のやり方は少しずつ変化してきています。

教養学部にとつて明るい変化は、この2008年度に教養学部の建物が改修されたことです。この4月から、われわれは改修された建物で活動することになります。この改修は耐震補強を主目的とするものであり、建て替えました。が、内部の



研究室や教室もより利用しやすく再配置されます。学生の勉学に供するための研修室も整備されました。一番大きな変化は、1階に資料センターを置き、教養学部の研究領域の文献類をまとめて閲覧できるようにしたことです。

これまでの教養学部の伝統を継承しつつ、新しくなった学舎で私たちは4月から活動を始めようとしています。機会があればぜひお出で下さい。

平成21年度

けやき会総会決定

- ・ 6月13日(土)午後2時
- ・ 埼玉大学学生会館3階講堂
- ・ 懇親会：学生会館2階きやら亭

転職された

先生の言葉

岡崎勝世先生

(歴史学)

沢山のエネルギーを

教養学部には1974年、30歳の時以来、35年間もお世話になりました。着任した当時はまだ「大学紛争」の名残りがあり、日常は女子学生も含めほとんどがジーンズ姿で、卒業式でも着物や袴の姿もなく、現在とは雰囲気がいぶん違っていました。あまり年齢が離れていなかったということもあつたかもしれませんが、講義中に手を挙げて反論されたりしたので、毎回たいへん緊張して講義室に入つたことを思い出します。その後、出会った学生の皆さんの年齢が私の二人の娘のそれに次第に近づき、同じになり、そして現在は、次女とでも10歳以上も離れています。教養学部も博士課程を持つようになり、コース制から専修・専攻制に移

行し、教員の構成も大きく変貌しました。

しかし変わらなかつたのは、学生の皆さんと話をすることが、いつもとても楽しかつたことです。とりわけ定年を意識するようになってからは、卒業生の皆さんが学生の頃のいろんな顔が目の前にちらつくようになり、一層励まされました。ここまで何とかこれたのは皆さんからいただいた沢山のエネルギーのおかげと感謝しています。また、相変わらず拙い私の講義のことを思うにつけ、辛抱強く聴いて下さつたご苦労を忍びながら、寛容さにも感謝しています。教養学部を離れるとはいっても、皆さんを応援する心は変わりません。どうかそれぞれの持ち場で活躍されますようにと、心から祈っております。

山口仲美先生

(日本語学)

実りの季節

埼玉大学の学生たちの真面目さ・質の高さについては、すでに新聞コラムなどは、すでに新聞コラムなどを始め、いろんなところで私は書いています。ですが

ら、ここでは、自分の研究のことを書くことにします。埼玉大学にいた11年間は、私の研究上の実りの季節でした。定年一年前に、明治大学から国際日本学部を立ち上げるから、力を貸してほしいと言われ、昨年埼玉大学を去りました。

改めて埼玉大学時代を振り返ってみると、最もたくさん仕事が出来た時期だった、そう思います。むろん、評議員の仕事をしている時、博士後期課程立ち上げの仕事をしてる期間などは、かなり大学業務に時間がとられました。それでも、恒常的に忙しい私立大学に比べれば、恵まれているのです。埼玉大学在職期間中に

こなした研究上の仕事を思い浮かべてみると、自分でもびっくりするほど、たわわに実っています。『平安朝の言葉と文体』という研究書の出版、『犬は「びよ」と鳴いていた』『日本語の歴史』などをはじめとする一般向けに書き下ろした単行本を10冊も刊行、そのほか『暮らしのことは 擬音・擬態語辞典』という辞典まで刊行できたのです。埼玉大学は、まさに私の研究上

の恩人。だから、心から応援しています。埼玉大学がますます栄えることを

塚本嘉壽先生

(精神病理学)

新学期の思い出

私は旧教養部におりましたが、平成7年教養学部へ配置換えになりました。精神構造論担当でした。職業柄、夢という現象に興味を抱いておりました。学生時代に試験の夢をよく見ましたが、教員になつてからは教室で話すことがなくなつて立ち往生したり、教室に行こうとしても辿り着けなくなつたりする、といった夢が多くなりました。ある年の新学期、時間表にある通りの教室に行つたら、別の先生がすでに授業をやっております。その前後の教室を覗いたり、その階上や階下の教室を探したりしましたが、私の行くべき教室は見当たりません。時間表のミスブリかとも思いますが、怪訝な顔でこれが正しいです、言われました。そこで私はこれは夢の中の出来事なのだ、と考え始めました。

数十分後に、教室番号ではなく建物(棟)自体を間違えていたのだと漸く気づきました。もうこんな怖い目に遭わなくてもいいかと思うととても安堵します。

同窓生から

まだまだ現役・・・

石田(宮永)智世子

(教養1回生・総合文化)

2007年7月28日に教養学部第一回生の同窓会が開かれました。卒業して38年、同僚との再会もあつたという間に終わってしまいました。しかし、会の後、日を追うごとに懐かしい思い出が次々と浮かんできました。

卒業してから、自分のしてきたことも振り返ることができないくらい、がむしやらに生きてきた気がします。仕事の数は十数件、期間は短いのは1ヶ月、長いのは23年(現在進行形)です。1ヶ月だった仕事はある著名な画家の家の住み込みお手伝いです。食事を作つたり、奥さんの能鑑賞のお供

をしたり、別世界の経験をしました。

長い方は現在も進行中の私たち夫婦で経営している古本屋です。2番目に長い塾経営が、大手の塾に負けてやむなく始めた仕事ですが、何とか今まで持ちこたえてきています。現在の店は西武池袋線大泉学園駅から徒歩4分の所にあります。2007年の2月に移転したばかりです。駅の近くなので、お客さんの数は前の店より多くはなりました



が、まだまだ順調とはいえません。地域密着型の古本屋・本に興味のある人が気楽に入れる店にしたいと思いい店内も少し工夫しました。入り口近くのスペースで、2ヶ月おきにイベントを実施しています。地元の川崎 滝氏「蒼ざめた馬」 訳者

他のトークショー・元新日本フィルの美山深氏のバイオリン演奏・かめや丸演劇・・・

このように模索しながらの毎日です。しかし古本屋にとって一番大事なのが本です。当店も本の仕入れに力を入れていますが、この数年、欲しい本が入ってこなくなってしまうのが一番の悩みです。

同窓会の皆様、もし、お持ちの本でご処分したいものがありませんら、当店までご連絡下さい。よろしくお願いたします。

〒178-0063

練馬区東大泉 1-35-12
グリーンミュージズみその・

ポラン書房

TEL/FAX 03 5387 3555

URL

<http://www.5d.biglobe.ne.jp/~polanet/>

現役生より

就職活動体験談

満永大祐（4年）

（半導体メーカー内定）

私が就職活動を意識し始

めたのは、3年の夏休みでした。就活に対してかなり無知だった私は、まず「世の中にはどういった企業があるのか」を知ることから始めました。本格的な就職活動を始めたのは、11月に行われた学内企業セミナーに参加してからです。これを機に、企業研究や自己分析を行うようになりました。そして、2月の後半から実際の選考が始まりました。

それから先は業種を限定せずに、多種多様な企業を受けていきました。しかし、春休みが終わる3月までに内定を取ることが出来ませんでした。この頃になると、私の周囲の友人たちにもちらほらと内定が始め、精神的にもかなり焦りを感じ始めていた時期でした。4月、5月になると大学の授業も始まり、就活のペースも落ちていきました。就活と大学の両立は難しく、企業説明会や面接のために、講義を休まなければならぬ時もありません。

こうした状況の中、私はある企業の人事の方から「もう一度自己分析をやり直した方がいい」とのアドバイスを受けました。自己

分析とは自分がどんな性格をしているのかを分析していくことです。このアドバイスを受け、もう一度自己分析を徹底して行うことにしました。すると今まで苦戦していた面接試験の通過頻度が高まり、6月上旬には2社から内定を頂き、その中から志望度の高い1社に決めることが出来ました。結局、私は今回の就活で30社弱の企業を受けました。

面接ではよく自由に自分をアピールする自己PRの時間が設けられます。私が内定を取ることが出来たのもこの自己PRの成功に起因すると思います。自己PRに画一化された正解はないと思いますが、私の実感としては「自分の性格をよく知り、それを相手に素直に伝えること」が自己PRにおける答えの一つだと思います。この自分の性格をよく知るといことは、すなわち自己分析に繋がっていきます。自己分析は、自分に対して「なぜ私は旅行が好きなのか」「それは知らない土地に行くのが好きだから」「ではなぜ知らない土地に行くことが好きなのか」といった内的な問いを

徹底的に繰り返していく作業です。この作業は果てがなくなるとも大変なものでしたが、後々面接において他人とは違う自分を出すための武器になっていきました。就活では、企業を知ることが以上に、自分を知ることが重要だと思っています。

今後就活をされる皆さんも、就活のマニュアル本に惑わされることなく、「自己分析」で発見した「他人とは違う自分」を「自分の言葉」で企業の人に伝えていくて欲しいと思います。

最近の埼玉大生

YS（3年）

最近の埼玉大学には色々な人がいて多様的です。東京の方まで服を買っちゃうようなお洒落な人がいると思えば、ファッションなんて気にも留めない勉強熱心な人。サッカーやバスケット、スポーツに一生懸命な人。音楽や写真など、自分の趣味に没頭している人。それぞれの人がこの埼玉大学での生活を楽しんでいるようです。

そんな多様性は、大学周辺



の飲食店にも反映されている気がします。BePlant、仲勝はもちろんの事、デニーズ、サイゼリアなど定番のファミリーストランの他にも、ウイグル料理屋やインド料理屋、中華料理屋など、埼玉大通り沿いは国際色豊かになっていきます。また、埼玉大通り沿いのラーメン屋激戦区ぶりには拍車がかかっており、以前からの津気屋人気は健在ですが、リニューアルされた七匹の子豚、新しい店が次々と出てきて、ラーメン屋百花繚乱の時代となっています。でも、そこはやつぱり大学生。平日のお昼時になると、第一、第二食堂とも学生でごった返します。3年ほど前に学生会館1階にできたローソンも、お昼には沢山の学生が集まっています。が、一方で、学生会館の二階のきやら亭に行く学生は

平成20年度 けやき会総会報告

総会次第

- 日時 平成20年5月24日(土) 2時~5時
 場所 東京駅八重洲北口サピアビル
1. 講演会 埼玉県蕨市長 頼高英雄(教養19回卒)
 2. 学部長挨拶 高木英至教授(社会システム)
 3. 会長挨拶 榎木誠(教養2回卒)
 4. 活動報告

総会の開催

会報6号の発行

けやき会ホームページの開設準備

埼玉大学連合同窓会事業

- ・ 講座の開設
- ・ ホームページの開設
- ・ 埼玉大学発展基金への協力
 教養学部卒業生 101件
 2893000円

5. 議事

けやき会会計報告(別の欄)

事業計画案・予算案

- ・ 総会・会報・HP開設・就職支援

6. 親睦会

ほとんどいません。昼休みも教師が数名いる程度です。サークル活動も最近ますます盛んになってきているようで、毎年、冬になるとイルミネーションサークルが大学構内や周辺を鮮やかに彩っていたり、アカペラサークル、チョココレッツはテレビの全国放送に出演したり、今後も埼玉大生の活躍には目が離せません。今まで、都内の学生に比べて、地味で華やかさが無いようなイメージをもたれてきた埼玉大学。今でも飛びぬけて華やかになったわけではないですが、周囲の地域、環境と上手く対応して独自の進化を続けています。



講演 蕨市長 頼高英雄

埼玉大学けやき会決算報告

(前回総会以降2006年6月10日~2008年4月末日)

収入	
繰越金	2,239,488円
会費・寄付	2,366,110円
名簿販売	3,500円
雑収入(ゆうちょ利息)	2,514円
(りそな利息)	1,485円
総会会費	145,000円
計	4,758,097円
支出	
ホームページ開設費	735,000円
「同窓会だより」印刷費	76,230円
同窓会連合会会費	300,000円
総会費	872,672円
名簿買取代	300,000円
会議費	86,388円
事務費	39,735円
計	2,410,025円
差引残高	2,348,072円
実際残高	2,347,072円
内訳	
2008/4/30 郵便振替	1,448,030円
2008/4/30 埼玉りそな	734,762円
2008/4/26 郵便貯金	116,139円
2008/4/30 現金	48,141円
誤差	2348072-2347072 -1,000円

2008年5月24日

会計担当 関根増男 石原 裕
 会計監査 酒井憲太郎 武井 尚

あとがき

同窓会だより『けやき』は大学の広報誌と同じ名前なので、今号から『けやき会』という名前に変更いたしました。

ご多忙中にもかかわらず、原稿のご執筆いただいた先生方、会員、現役生、誠にありがとうございました。なお、会長・蕨市長の写真は、酒井憲太郎氏(70年卒)による撮影です。

先日、同期の6人と渋谷で飲み会をやりました。会社経営の現役2人は時勢柄、資金の工面に苦労していましたが、とても元気でした。

発行者 けやき会

(埼玉大学文理学部文学科・人文学部、教養学部同窓会)

事務局 〒338-8570

さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学教養学部内

Eメール info@keyakikai.net

ホームページ <http://www.keyakikai.net/>(6月まで準備中)

事務担当 関根増男(69年卒)